

2021年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年3月3日

上場会社名 株式会社ダイサン 上場取引所 東
 コード番号 4750 URL <http://www.daisan-g.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤田 武敏
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 室長 (氏名) 多留 健二 TEL 06-6243-6341
 四半期報告書提出予定日 2021年3月3日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年4月期第3四半期の連結業績（2020年4月21日～2021年1月20日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年4月期第3四半期	6,305	△14.2	△219	—	49	△72.4	20	△69.0
2020年4月期第3四半期	7,352	—	177	—	177	—	66	—

(注) 包括利益 2021年4月期第3四半期 △53百万円 (—%) 2020年4月期第3四半期 80百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年4月期第3四半期	3.19	—
2020年4月期第3四半期	10.30	—

(注) 2020年4月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年4月期第3四半期の前年同期比増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	
2021年4月期第3四半期	9,898	6,662	66.6	1,028.05
2020年4月期	10,397	7,012	66.0	1,070.83

(参考) 自己資本 2021年4月期第3四半期 6,592百万円 2020年4月期 6,867百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年4月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2021年4月期	—	10.00	—	—	—
2021年4月期（予想）	—	—	—	11.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年4月期の連結業績予想（2020年4月21日～2021年4月20日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,770	△7.7	△180	—	50	△80.6	3	△97.5	0.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年4月期3Q	7,618,000株	2020年4月期	7,618,000株
② 期末自己株式数	2021年4月期3Q	1,205,112株	2020年4月期	1,205,111株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年4月期3Q	6,412,888株	2020年4月期3Q	6,412,889株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により急速に悪化し、緊急事態宣言の解除後は持ち直しの動きが見られたものの、再び都市部を中心に緊急事態宣言が発令される事態となったことから、先行き不透明な状況となりました。

当社に関連の深い住宅業界について、新設住宅着工戸数は利用関係別で持家、貸家、分譲ともに前年を下回る状況が続き、全体でも前年同期比でマイナスとなりました。

こうした状況において、当社グループでは当連結会計年度を最終年度とする中期経営計画を立ち上げ、既存事業の効率化と資源の有効活用および国内における労働集約型ビジネスモデルの脱却を目的とした新たな市場の開拓と新規事業の展開を進めました。

また、新型コロナウイルス感染症に対する当社の全社的な対応としては、2020年3月より感染拡大防止策として進めているマスク着用、手指のアルコール消毒、検温、本社・支店スタッフのテレワーク勤務、時差出勤など感染防止への努めを継続するほか、受注量の減少による事業活動の縮小に対しては、全てのスタッフを対象に一部の稼働日を休業し休業手当を100%支給するとともに、雇用調整助成金の助成を受けております。

なお、2020年8月3日に公正取引委員会より請負契約の施工スタッフに対する消費税の転嫁不足に対する勧告を受け、2014年4月以降の支払い対価の不足額49百万円を特別損失として計上しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は6,305百万円(前年同期比14.2%減)、営業損失219百万円(前年同期は営業利益177百万円)、経常利益49百万円(前年同期比72.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益20百万円(前年同期比69.0%減)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

①施工サービス事業

施工サービス事業につきましては、今期の期首より政府による緊急事態宣言を受け、多くの顧客が営業活動の自粛、建設現場の工事停止を進め、当社の受注活動も厳しい状況が続いておりましたが、新規顧客獲得への営業を進めるなど積極的に活動したこともあり、第2四半期後半より徐々に受注が増え始め、第3四半期間においては、ほぼ前年同期間並みの売上高となりました。

そのような中、前期より進めております請負契約の施工スタッフの社員化を促すとともに、営業担当者による現場調査のIT化、WEB会議システムを利用した社内業務の効率化、現場管理用カメラ「魚眼くん」の拡販、CADを利用した足場計画図の提供など、将来を見据えた新しいビジネスモデルの構築に取り組みました。

以上の結果、売上高は4,957百万円(前年同期比7.9%減)、売上総利益は1,438百万円(同18.9%減)となりました。

②製商品販売事業

製商品販売事業につきましては、景気の先行きに対する不透明さから、主要顧客を中心に足場部材の買い控えが続き、取引額は大きく減少いたしました。また、中期経営計画にて積極的に進めている販路開拓について、第2四半期までは新規顧客との取引量は増えたものの、第3四半期中頃から全国的に新規感染者が増え始めたため、感染リスクを考慮し、対面での営業活動を制約したことから、計画通りに進みませんでした。

このような状況の中、中層大型建築物向けに安全性を高めた新製品「レボルト®」に対する今後の需要拡大と施工サービス事業への社内投入を目論み、生産工程の稼働率を最大限まで高め、在庫の確保を進めました。そのほか、現場消耗品として安定した需要が見込める工事用メッシュシートについて、商品調達先を海外に切り替えての仕入れ価格低減と販売促進により、収益確保に努めました。

以上の結果、売上高は703百万円(前年同期比34.2%減)、売上総利益は188百万円(同30.6%減)となりました。

③海外事業

海外事業につきまして、在外子会社のあるシンガポールでは、前年2月より政府による新型コロナウイルス感染症の拡大防止策がなされ、4月のサーキットブレーカー実施により国内経済が停滞する事態となったことから、事業活動は大きく制限されました。6月より徐々に規制が緩和され、現場への労働者派遣に対しては依然として厳しい規制が残っておりますが、緩やかながらも派遣者の稼働率は前期の水準に戻りつつあります。

このような状況において、新たな取引先と受注を増やすべく、業界経験の豊富なマネージャーを採用し積極的な営業を行い、日系企業に対しても働きかけを強めて関係強化を図ることで、先々の受注基盤構築に取り組みました。

以上の結果、売上高は591百万円(前年同期比29.7%減)、売上総利益は84百万円(同58.7%減)となりました。

なお、前第3四半期連結累計期間は、子会社化の時期の関係上、連結対象となる月数は8ヵ月間となります。

④その他

その他につきましては、業務受託料および保険代理店収入等で構成されており、売上高は52百万円(前年同期比8.4%減)、売上総利益は38百万円(同2.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少372百万円、受取手形及び売掛金の減少361百万円、賃貸用仮設材の増加257百万円等により前連結会計年度末に比べ499百万円減少の9,898百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金の減少41百万円、短期借入金の増加148百万円、その他流動負債に含まれる一年内返済予定長期借入金の減少50百万円、未払金の減少70百万円、長期借入金の減少138百万円等により前連結会計年度末に比べ149百万円減少の3,236百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ349百万円減少の6,662百万円となり、自己資本比率は66.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年4月期の業績予想に関する事項につきましては2020年10月12日に公表いたしました数値から変更はありません。なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年4月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年1月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,089,867	1,716,888
受取手形及び売掛金	1,798,086	1,436,525
電子記録債権	99,351	67,366
たな卸資産	868,144	994,157
貸貸用仮設材	473,981	731,266
その他	76,722	101,732
貸倒引当金	△24,256	△9,146
流動資産合計	5,381,897	5,038,789
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,656,757	1,656,757
その他	982,732	1,050,297
有形固定資産合計	2,639,489	2,707,054
無形固定資産		
のれん	667,079	602,929
その他	129,963	119,544
無形固定資産合計	797,042	722,474
投資その他の資産		
その他	1,582,552	1,436,909
貸倒引当金	△3,467	△6,717
投資その他の資産合計	1,579,084	1,430,192
固定資産合計	5,015,617	4,859,721
資産合計	10,397,514	9,898,511
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	401,203	359,401
電子記録債務	233,108	307,853
短期借入金	102,954	251,483
未払法人税等	44,910	—
賞与引当金	168,015	142,211
その他	1,114,124	975,608
流動負債合計	2,064,318	2,036,559
固定負債		
長期借入金	1,100,165	962,062
資産除去債務	82,987	84,473
その他	137,930	153,047
固定負債合計	1,321,083	1,199,584
負債合計	3,385,401	3,236,143

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年4月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年1月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	566,760	566,760
資本剰余金	649,860	569,954
利益剰余金	6,519,170	6,392,116
自己株式	△918,982	△918,983
株主資本合計	6,816,808	6,609,847
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	61,677	45,775
為替換算調整勘定	△11,352	△62,881
その他の包括利益累計額合計	50,324	△17,106
非支配株主持分	144,979	69,626
純資産合計	7,012,112	6,662,367
負債純資産合計	10,397,514	9,898,511

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月21日 至 2020年1月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月21日 至 2021年1月20日)
売上高	7,352,084	6,305,187
売上原価	5,062,524	4,555,306
売上総利益	2,289,559	1,749,880
販売費及び一般管理費	2,112,171	1,969,832
営業利益又は営業損失(△)	177,388	△219,951
営業外収益		
受取利息	459	1,979
受取配当金	2,871	2,808
投資不動産賃貸料	4,823	2,047
助成金収入	—	261,643
その他	14,594	28,526
営業外収益合計	22,748	297,005
営業外費用		
支払利息	10,805	11,050
減価償却費	7,047	7,489
その他	4,465	9,462
営業外費用合計	22,318	28,002
経常利益	177,818	49,051
特別利益		
投資有価証券売却益	—	73,915
受取保険金	25,325	700
特別利益合計	25,325	74,615
特別損失		
固定資産除却損	344	780
災害による損失	17,363	—
消費税転嫁対策特措法関連損失	—	49,927
特別損失合計	17,707	50,707
税金等調整前四半期純利益	185,436	72,958
法人税、住民税及び事業税	95,205	32,182
法人税等調整額	23,800	19,593
法人税等合計	119,005	51,775
四半期純利益	66,431	21,182
非支配株主に帰属する四半期純利益	408	740
親会社株主に帰属する四半期純利益	66,022	20,441

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月21日 至 2020年1月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月21日 至 2021年1月20日)
四半期純利益	66,431	21,182
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,598	△15,901
為替換算調整勘定	△106	△58,788
その他の包括利益合計	14,491	△74,689
四半期包括利益	80,922	△53,507
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	82,680	△46,988
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,757	△6,518

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年5月11日付で、連結子会社であるMirador Building Contractor Pte. Ltd.の株式を追加取得いたしました。この結果、第3四半期連結累計期間において資本剰余金が79,905千円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月21日 至 2020年1月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	施工 サービス事業	製商品 販売事業	海外事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,382,768	1,069,483	842,254	7,294,506	57,577	7,352,084
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,382,768	1,069,483	842,254	7,294,506	57,577	7,352,084
セグメント利益	1,773,075	271,970	205,301	2,250,347	39,211	2,289,559

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、業務受託料および保険代理店収入等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月21日 至 2021年1月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	施工 サービス事業	製商品 販売事業	海外事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,957,292	703,196	591,960	6,252,450	52,737	6,305,187
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,957,292	703,196	591,960	6,252,450	52,737	6,305,187
セグメント利益	1,438,135	188,774	84,783	1,711,693	38,187	1,749,880

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、業務受託料および保険代理店収入等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。